

事業所名: グループホーム 田尻の里

作成日: 令和2年 11月 6日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	今後も公民館館長や自治会の方と情報交換し、新たな地域交流を見つけていく予定である。コロナ禍においても保育園児やボランティアの方々とはビデオ交流を行うなど、楽しみの機会を増やしていきたいと考えている。	入居者の方々には、コロナ禍においてもなるべく日常と変わらない生活に近づけるように施設内の雰囲気づくりをしたいと思っている。また、毎年恒例の地域のイベント、保育園来所によるお遊戯等の楽しいイベントも忘れないようにしていただきたい。	施設との交流のある関係各所の方々に、コロナ禍で開催中止になったお祭り等の過去開催の映像や保育園児の出し物、お遊戯の映像などをお借りできないか問い合わせてみる。	12 ヶ月
2	28	今後もアセスメントの中に「人体図」「有する能力(できる能力・できそうな能力)」「介助理由」「各活動の要望」「BPSD行動の背景(原因)」「解決策」等を増やすと共に、介護計画の短期目標を具体化していく予定である。	入居者の方々の今や今後のより良い暮らしの為にスタッフ全員でアセスメントを見直し、ケアプラン作成に繋げたい。	センター方式による心身の情報と焦点情報を今までのアセスメントにさらに加えることで御入居者一人ひとりに焦点をあてた計画を立てていく予定である。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月